



COVER STORY

MARBLE マーブル

郡内でアパレル業に携わっていた湯沢市出身の藤田一平さんが4年前に帰郷し、地元で若者が団結する場を提供するために起業。「MARBLE」はラテン語で「輝く石」という意味をもち、老若男女の個性を取り入れて一つにしていきたいという思いが込められている。洋服へのプリント、刺繍、ユニフォーム制作とダンス、カルチャースクール、合唱、吹奏楽など芸術・文化活動で多目的に使用できるスタジオ施設を運営する。8月に湯沢市で第1回目が開催されるイベント「湯沢ストリート村」は、地域で活動している人々やサークルの発表、出展の場を目的として企画され、平成26年10月に秋田県全域を会場に行われる「第29回国民文化祭・秋田2014」の応援事業ともなっている。

芸術・文化活動を通して、 地域で頑張る人々に 交流の場を提供したい



芸術・文化活動を広める 新たな取り組み

かつて湯沢市の商業の中心地であった駅前サンロード商店街。現在はシャッター街と化してしまった通りの一角に、ひときわ煌々と明るい店内でダンスを練習する子供達の姿が。そこは1階を多目的レンタルスタジオ、2階をオリジナルデザイン事務所として湯沢市表町にオープンしたMARBLEの新しいオフィスです。地域で活動している子供から大人までの幅広い団体、個人向けにオリジナルシャツやグッズなどのデザイン提案や制作を受注していま

す。以前から若者の県外流出や元気のない湯沢市に不満をもっていた代表の藤田一平さん。学校で授業科目となっているストリートダンスや地域で活動しているスポーツ団体や習い事教室など芸術や文化活動を通してコミュニケーションの場をつくり、地域みんなが団結していく場を提供したいという思いからMARBLEを起業しました。

湯沢市三大祭に続く 祭りを目指して

さらなる地域の芸術、文化活動の発表の場として今年8月11

日に初開催となる「湯沢ストリート村」は、魅力に溢れる特産物や豊富な観光地があるにも関わらず、他地域に比べ盛り上がり欠けると感じる湯沢市のために、自分たちに貢献できることはないかと考えた代表の藤田さんが立案し、秋田県と湯沢市教育委員会へ提案。メインイベントのひとつ、小学生から高校生を対象としたストリートダンスコンテストはより沢山の方に各地域で活動しているダンスチームの成果を

見てもらうための機会。また、地域の歴史や文化を知ってもらうために湯沢市三関地区の「豊稷太鼓」など秋田県内はもとより東北各地域の郷土芸能、アマチュア団体に地域文化の活動を発表してもらおうプログラム構成としました。このイベントを通して湯沢市の市民性といった魅力を広く発信できるよう、スタッフたちは今、一丸となって奔走しています。

オリジナルデザイン工房 MARBLE

tel.0183-55-8850 湯沢市表町 1-1-1 不定休
<http://ysv.digi2.jp/>